

正味財産増減計算書

令和4年7月1日から令和5年6月30日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	202	198	4
特定資産受取利息	202	198	4
受取入金	70,000	100,000	△ 30,000
受取入金	70,000	100,000	△ 30,000
受取会費	4,612,000	4,784,000	△ 172,000
受取会費	4,612,000	4,784,000	△ 172,000
事業収益	213,654,414	143,693,258	69,961,156
嘱託登記事業収益	213,654,414	143,693,258	69,961,156
雑収益	47,658	81,461	△ 33,803
受取利息	213	264	△ 51
雑収益	47,445	81,197	△ 33,752
経常収益計	218,384,274	148,658,917	69,725,357
(2) 経常費用			
事業費	204,160,982	143,467,181	60,693,801
役員報酬	330,640	423,270	△ 92,630
給付金	6,101,213	6,143,558	△ 42,345
退職給付費用	179,460	179,460	0
福利厚生費	553,614	546,308	7,306
旅交運搬費	449,041	365,324	83,717
通信搬	297,110	245,644	51,466
消耗品費	1,359,620	1,417,055	△ 57,435
印刷製本費	68,200	218,400	△ 150,200
貸借料	913,575	732,000	181,575
支払リース料	16,716	62,232	△ 45,516
保険料	364,930	338,580	26,350
業務処理費	188,015,901	126,450,153	61,565,748
租税公課	1,457,984	696,054	761,930
雑償却費	22,000	117,181	△ 95,181
減価償却費	4,030,978	5,531,962	△ 1,500,984
管理費	10,134,296	10,449,272	△ 314,976
役員報酬	617,260	954,630	△ 337,370
給付金	1,651,281	1,662,742	△ 11,461
退職給付費用	48,570	48,570	0
福利厚生費	201,335	328,157	△ 126,822
旅交運搬費	125,009	113,828	11,181
通信搬	176,959	330,467	△ 153,508
消耗品費	1,306,715	1,314,048	△ 7,333
印刷製本費	388,110	600,180	△ 212,070
印刷製本費	82,200	106,620	△ 24,420
貸借料	660,000	660,000	0
支払リース料	16,716	62,232	△ 45,516
保険料	41,250	38,370	2,880
業務処理費	2,888,182	2,179,071	709,111
租税公課	896,500	924,000	△ 27,500
雑償却費	77,916	35,146	42,770
減価償却費	655,750	766,750	△ 111,000
接待交際費	12,000	0	12,000
支払利息	0	51,246	△ 51,246
雑償却費	210,348	155,165	55,183
減価償却費	78,195	118,050	△ 39,855
経常費用計	214,295,278	153,916,453	60,378,825
評価損益等調整前当期経常増減額	4,088,996	△ 5,257,536	9,346,532
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	4,088,996	△ 5,257,536	9,346,532
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	4,088,996	△ 5,257,536	9,346,532
一般正味財産期首残高	46,778,279	52,035,815	△ 5,257,536
一般正味財産期末残高	50,867,275	46,778,279	4,088,996
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	50,867,275	46,778,279	4,088,996

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

建物	定額法による償却によっている
什器備品	定率法による償却によっている
ソフトウェア	定額法による償却によっている

(2) 引当金の計上基準

退職給付引当金 給与規定に基づき定めた支給基準により、設定している

(3) 消費税等の会計処理

税込処理によっている

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
退職給付引当資産	3,192,420	228,030	0	3,420,450
事故対策引当資産	3,700,000	0	0	3,700,000
財務調整積立資産	1,500,000	0	0	1,500,000
減価償却引当資産	1,010,000	0	0	1,010,000
関プロ総会準備引当資産	800,000	0	0	800,000
合計	10,202,420	228,030	0	10,430,450

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応す る額)
退職給付引当資産	3,420,450	-	-	(3,420,450)
事故対策引当資産	3,700,000	-	(3,700,000)	-
財務調整積立資産	1,500,000	-	(1,500,000)	-
減価償却引当資産	1,010,000	-	(1,010,000)	-
関プロ総会準備引当資産	800,000	-	(800,000)	-
合計	10,430,450	(0)	(7,010,000)	(3,420,450)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	451,500	451,499	1
車輛運搬具	1,579,760	1,136,996	442,764
什器備品	16,395,782	12,831,133	3,564,649
合計	18,427,042	14,419,628	4,007,414